

今冬のインフルエンザと 新型コロナウイルス感染症の 同時流行に備えて



いしだ よしひろ
半田市立半田病院 院長 石田 義博

1. はじめに

9月16日に当院職員の新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の陽性が確認されました。その後、複数の患者さんと職員に感染が拡大し、診療制限に至ったことで、市民の皆様にご迷惑をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。

2. 今冬の同時流行の危険性について

今冬には新型コロナの流行がインフルエンザの流行期と重なることにより、公衆衛生上の重大な危険性が指摘されています。

インフルエンザと新型コロナはともに「風邪症状」から始まり、症状からは見分けが付きません。しかし、どちらも多くの患者さんは軽症で自然治癒します。毎年、インフルエンザ流行期には多くの発熱者が医療機関を受

診しますが、今年はこの中に新型コロナの患者さんがいるかも知れません。従って、医療機関では発熱者への感染対策に膨大な労力が必要となります。そのため、多数の発熱者が救急外来を受診されると、救急救命センターの機能が麻痺し、重症者への対応ができなくなる危険性があるのです。

3. 命を守る活動を維持するために

救命救急センターは、心筋梗塞や脳卒中、あるいは緊急手術や処置が必要な疾患など急性発症の重症患者さんの命を守る役割を担っています。この冬の医療崩壊を防ぎ、重症患者さんへの医療提供を維持するために、地域の医療機関と当院の救命救急センターの役割分担をご理解いただき、風邪症状などでの救急外来受診を極力控えていただくことを切にお願いいたします。

インフルエンザを防ぐために

【問合わせ】保健センター ☎ 84-0646

インフルエンザとは、風邪症状に加え、突然の高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛など全身症状が強く、合併症を起こす危険性が高い感染症です。ウイルスを吸い込む、または触れることにより感染します。

予防方法

1 手洗い・うがい

食事の前や帰宅後には必ず行いましょう。また、手洗いをするときには、洗い残しの多い“指先・指の間・手首”も忘れずに洗いましょう。

2 マスク・咳エチケット

マスクは、湿ってきたら交換の目安です。使い終わったマスクはビニール袋に入れて捨ててください。

【正しいマスクの着用手順】

- ①鼻と口の両方を確実に覆う。
- ②ゴムひもを耳にかける。
- ③顔とマスクの間に隙間がないか確認する。



3 毎年、インフルエンザの予防接種を受けましょう

予防接種を受けることで症状の悪化を防ぎます。効果は接種から2週間後に出てきて、5か月間程度続きます。予防接種助成制度については、市報10月1日号または市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

4 バランスの良い食事をとりましょう。

5 休養を心がけて、睡眠時間を確保しましょう。

6 人混みを避けましょう。